

令和元年度第4回淡路市子ども・子育て会議（第20回） 会議録

開催日：令和2年2月18日（火）13:30～15:15

開催場所：市役所2号館3階大会議室7・8

出席委員：13名 欠席委員：7名

傍聴人：1名

協議事項（1） パブリックコメントの募集結果について

<委員からの意見>

会 長 パブリックコメントが0件ということで、どのような扱いとなるか。

事務局 ご意見無しという扱いになる。

協議事項（2） 計画案の最終確認について

<委員からの意見>

委 員 来年度から学童保育が場所を指定して、土曜日の実施時間が18時まで延長されるとのことだが、どこの学童保育が対象となるのか。

事務局 現在検討中でまだ特定できていない。本来ならば全保育所で開設するのが理想ですが支援員等の関係もございまして今のところ調整中です。

会 長 26ページの実績値の平成31年度分は今年度なのでまだ確定されていないと思うのですが。

事務局 平成31年度の実績値は見込みとなる。

委 員 一部の学童保育で土曜日が延長となった場合、料金はどうなるのか。

事務局 延長に伴う料金の改定は予定していない。

委 員 26ページの病後児保育の実績値が、昨年度の3人から今年度17人と増えている。どのような理由による利用か分かるか。

事務局 インフルエンザの流行による利用はあまり多くなく、通常の風邪の利用が多かった。

委 員 評判はどうか。

事務局 利用者アンケートはまだまとまっていないが、使いやすいといったご意見や、場所が遠い、利用のための事前予約や診察を受けるなどの条件が面倒といったご意見も見られた。これについては必要なルールに則っているので崩すことは出来ない。引き続き、周知していく。

会 長 自由意見の扱いについて、ご存じない委員もおられるので再度ご説明いただきたい。

事務局 前回資料では、本編中に自由意見だけを掲載していたが、これを資料編に移動して、回答を記載するよう変更した。

委 員 自由意見に回答いただいてわかりやすいと思う。

病後児保育はあるが、保育の現場では、保育中に熱が出た時、保護者に連絡

してもすぐに職場を離れられないという状況があつて困っている。0～1歳児はすぐに高熱が出る。保育所も保護者が来るまで心配だし、職場が理解してもらえたらと思う。

委員 0歳から保育所に入る子どもも増え、大きな園ほど病児が発生しやすい。看護師が居るものの、阪神方面に努めている保護者も多く、1時間以上かかる人もいる。7時までの延長など希望する意見もあるが、職員も少なくジレンマがある。学童保育の土曜日の延長についても、仕事をしているのでうれしいという声がある一方で全然違う地域で学童保育を受ける不安さはある。

委員 低年齢児ほど体調を崩しやすいことは確かで、職場復帰してもすぐに呼び出しがあると想定している。夫婦で何とかやりくりしていくしかないが、職場環境によると思う。職場の意識は、社会全体で変わってほしい。通学時の安全について、自分の所は通学に1時間以上歩くが、道路を歩く人も少なく心配である。兵庫県警ではランニングパトロールといって、揃いのTシャツでランニングしながらパトロールするボランティアがある。親の目が届かない事もあるので、腕章や声掛けなど、地域の目の助けがあれば安心だと思う。

会長
事務局 地域の人のかこうした活動を繋ぐような場所はあるのか。
ランニングに限らず、地域の人か子どもの登下校時に玄関の前に立つなど、人の目があれば防犯の効果もあると思うので、ご協力いただけるところがあるか相談出来るようなところを見つきたい。

委員 2月8日の市民フォーラムにおいても高齢者が役割を担うことによって元気がでるメリットが話された。人との繋がりや役割分担を通じてやりがいにもなる。ユニフォームで歩くだけで十分地域の安全に貢献することができる。

委員
事務局 69ページの病後児保育を利用する流れを再度説明いただきたい。
聖隷こども園に前日までに空き状況の確認と予約を行い、利用までに受診し、医師の指示書をもって、それを持参して利用するという流れになる。

委員
事務局 当日の利用は難しいのか。
基本ルールとしては前日予約となる。

委員
事務局 医師の指示書は当日持っていくが、前日書いてもらった指示書で大丈夫か。
前日書いてもらった指示書で大丈夫です。

委員 67ページの保育士の待遇について、処遇改善に努めているとあるが、近隣市よりも良くなるのか。

事務局 会計年度任用職員の制度になると、淡路市は退職金制度を適用したり、ボーナスの支給率が上がるなど、近隣市よりも良くなっていると思う。

委員
事務局 70ページの島外への通学のための交通費補助について、淡路市の子が島外の高校・大学に出たら市の疲弊につながるとあるが、どのような意図か。
担当のまちづくり政策課からの回答となるので、意図を確認する。

- 委員 島の子どもは島の高校に行ったほうが良いという事だと思うが、これが良いか悪いかは議論があると思う。民度という面から見ると、島で生まれ育った子が、外で勉強してしっかりした人材として帰ってくるメリットもある。地域に良い人材がいれば企業の進出にも繋がると思う。そういう意味でも助成はあった方が良い。これから育てていく子どもを、どれだけ社会に通用するよう育てるか、という視点で考えてほしい。
- 委員 保護者にとっては選択肢が広がる方が良い。市の疲弊に繋がるから島外への通学に助成しないとすると、市の回答として反発を覚える。
子育て情報発信のアプリについて、いつ頃開発されるのか。
- 事務局 4月頃を予定している。
- 委員 前回の会議でもお伝えしたが、保護者の意見を取り入れていただく事は可能なのか。
- 事務局 まずは使っていただいて、意見を吸い上げることを考えている。
- 委員 アプリ自体がまだ開発途中のままスタートしているので、アプリの開発元には、前回会議でいただいたご意見を伝えている。お母さん同士がつながれるシステムや、発信できるようになればいいと思う。
- 委員 パブリックコメントと、アンケートの自由意見とはどう違うのか。
- 事務局 パブリックコメントは、計画書案を見て、全体を通して意見を求めるものとなる。
- 委員 計画書案が備えつけられていたという説明だったが、子育て学習センターや学童など、保護者が集まる場所に意見を聞きに来てくれれば意見は出てくると思うが、備え付けられた場所まで見に行き意見を出すというのは、よほど熱意がないと出来ないと思う。
- 事務局 今後の参考としたい。
- 委員 31～32ページの課題について、文末の「必要です」、「重要です」の意味の違いはあるのか。
- 事務局 どれも課題として重要だが、近い将来にやらないといけない緊急性の高いものから「必要です」、「重要です」、「望まれます」といった区別をしている。
- 委員 全体的に、1期計画を踏まえた計画になっていると思う。
広報の観点から、イラストなども入れて、読んでみたいと思える体裁にしてほしい。
- 事務局 概要版については広く配布するものになるので、カラーで関心を持ってもらえるデザインを予定している。
- 委員 計画書はどこに配布されるのか。
- 事務局 計画書は部数に限りがあるので、本会議の委員、保育所、こども園、小中学校、議員などへの配布を想定している。またホームページでも見れるようにする。概要版は子育てハンドブックと同じような配付先となる。
- 委員 概要版は保護者にも配付されるということだが、病後児保育の利用手続きな

どはどこに書かれるのか。

事務局 子育てハンドブック 2019 年度版の 29 ページに記載している。

委員 38 ページの「島と暮らす保育園」は定員 6 とあるが、12 名ではないか。

事務局 企業枠と地域枠があり、地域枠が 6 名となっている。

委員 パブリックコメントが 0 件だった事について、日頃の関心が向いていないのかもしれない。淡路市は事業を知ってもらう努力はされていると思うが、施設に来る多くの人、どこまで知っているか分からない。

委員 他市からも人が来るが、近隣市と比較すると、淡路市の方が支援が充実していると感じる。子ども一人ひとりに目を向けてもらっていて、細かく見ると恵まれていると思う。

委員 54 ページの発達支援ネットワークについて、具体的にどのようなものか。

委員 保育所・認定こども園の医療的ケア児への対応について、学習会など年 2 回ほど開催されているので参加しやすいよう支援をしてほしい。交通費など。

委員 医療的ケア児について、地域福祉課と合同で定期的に医療的ケア児支援検討会を行っているので、ご意見を伝えたい。

会長 38 ページに企業主導型保育所の定員が示されているが、39 ページにはゼロとなっている。

事務局 企業主導型保育は、40 ページの 3 号認定の枠となる。

会長 2 号認定を見ると、量の見込みは少子化により減少となるが、確保方策は同じ数字が上がっている。これは単に定員を示しているのか、それとも、その人数を受け入れられる体制を整えるという意味での人数か。

事務局 2 号認定の 1,000 人は定員を示している。受入人数は保育士の数にもよるが、申込みがあれば全員受け入れられるよう配置する事を想定している。

会長 市全体としては保育所が足りているという事だが、淡路市は市域が広く地域性もある。利用調整も行われているが、地域として足りているか見てもらえればと思う。

委員 希望していない保育所に行く子どもは多いのか。

事務局 申込時に第 1～第 3 希望まで書いてもらって、保護者の就労状況等により優先順位の低い方については第 2～3 希望の所に入っただけよう調整している。

委員 利用調整の対象者は、どれぐらいの人数、割合なのか。

事務局 全体 842 名のうち数十名で、割合は 2%程度だと思う。

委員 保育士は足りているのか。

事務局 園ごとに決められた常勤人数は足りている。

委員 その他の一時預かりについて、需要に対して供給が足りているか。場所によっては混んでいて、未満児を預けられるところが少ない。人口の集中している地区では他の預け先が無いと難しいと思う。

事務局 一時預かりについては利用者数も読めないのが難しい面がある。受け入れる

には保育士が必要だが、十分な状況ではない。確保に努めているが、すべての希望に沿うのは難しい。

委員 ファミリー・サポート・センターなども選択肢に入れて検討してほしい。

協議事項（3） 計画の進捗管理について

<委員からの意見>

会長 進捗管理のためにこの会議を毎年開催して報告いただくということか。

事務局 毎年の実績をお示しして進捗管理していきたい。

協議事項（4） 計画の概要版について

<委員からの意見>

委員 概要版を保護者に配布したいが、タイミングとして、母子手帳の交付時か、赤ちゃん訪問の時か、いつが良いと思うか。

委員 母子手帳をもらう時は資料が多いので、赤ちゃん訪問の時の方が現実味をもって見れるし良いのではないかと思う。

委員 聖隷淡路病院で産科休止に伴い、母親教室も無くなった。第3月曜日のお昼から「元気っ子カフェ」で1歳くらいまでの相談会をやっているが、来年度から午前「元気っ子ママカフェ」という形で妊娠中のお母さんの相談会もできればと考えている。

7ヶ月児を対象にもぐもぐ離乳食教室があるが、離乳食が始まる前に知りたいというニーズも聞いている。

委員 毎年進捗管理していくことや、子ども・子育て会議があることを、概要版にも記載してほしい。また、計画書がどこで見れるかを記載したり、子育てハンドブックがあることも示してほしい。

事務局 工夫して掲載する。

委員 アンケートは膨大で書くのが大変だった。その結果のまとめられたものを見る機会がなく、見に行かないと見れない。「あの時のアンケート結果は現在ホームページで公開中です。」とか広報誌にその案内情報などあれば良いのではないか。自由意見の回答とかを見たら「私の意見ちゃんと見てくれてこういう答えなんだ」ってわかるので目に触れられないまはもったいない。子育て精一杯のお母さんはホームページも見ないし、新聞もとっていない家庭が増えている。保育所、学校からお知らせ1枚もらう事でようやく見るぐらいだと思う。

事務局 いただいたご意見を集約したもので、見ていただくよう周知したい。

会長 見てもらう工夫をお願いしたい。

委員 自由意見への返事をしっかりと書いていただいた。市と保護者との信頼関係

を築くためにせつかく答えてもらったのが、答えているのに届かないとなる
ともったいない。安心ネットを通じて見れるようにするとか、意見が届きや
すい状況であることが分かると市民も意見しやすくなる。周知に力を注いで
ほしい。

会 長 子育てハンドブックとの住み分け、連携していけるよう、URL 記載するなど
してほしい。

委 員 7 ページの津名子育て学習センターは、建て替えで新しくなるが、これまで
は津名子育て学習センターでは飲食できなかったが、どのような構造となる
のか。

事務局 芝生広場を整備する予定で、遊具なども設置するし、館内のヘルシー広場
でも飲食可能になる予定。

委 員 概要版の表紙のタイトルはこのままなのか。固い印象で、保護者としては自
分に関係あるものに思えず見てもらえないのではないかと。

事務局 計画書は法定計画でもあるので変えられないが、概要版では目立つようなサ
ブタイトルをつけるなどして、興味を持ってもらえるよう工夫する。

委 員 保護者にとって興味があるのは2 ページの祝い金と小児救急と最終の学習
センターの場所だと思うので、祝い金と小児救急をもっと目立つようにして
ほしい。

その他

- ・ 次回の子ども・子育て会議は10月頃の予定。

以 上